

## 株式会社インソースとの包括的な 産学連携推進に関する協定書の締結について



神戸大学大学院経営学研究科と株式会社インソースは、我が国における人的資本経営の普及を促進することを通じ、多様性の重視や働きがいの向上といったSDGsに示される社会問題の解決に貢献しつつ日本経済を活性化することを目的として、「人的資本経営に関する包括的な産学連携推進に関する協定」を、令和5年5月16日に締結しました。

株式会社インソースは、創業者でもあり、代表取締役執行役員社長である舟橋孝之氏の下、あらゆる人が「働く楽しさ・喜び」を実感できる社会をつくることを企業理念として掲げた会社です。この企業理念の実現のために、「社会の求めるサービスをいち早く開発し提供する」「あらゆる人にジャストフィットするカスタマイズされたサービスを提供する」「人とITを有効活用し、リーズナブルであることを追求する」「どのような人でも活躍できる社会の実現を目指し、ダイバーシティを実現する」ことを具体的な経営方針として掲げています。

働く人々が楽しさや喜びを実感できる社会を目指す株式会社インソースと、経営学に関する幅広い専門的知見を有する研究者を擁する神戸大学大学院経営学研究科が緊密に連携することを通じ、日本発の人的資本経営に関する国際的な研究・教育の拠点となることを目指しています。

### ●お問い合わせ先

人的資本経営研究教育センター  
(インソース創業20周年記念寄附センター)  
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1  
神戸大学大学院経営学研究科内  
電話: 078-803-6913 (直通)  
Eメール: hcmrec@b.kobe-u.ac.jp  
ホームページ: <https://b.kobe-u.ac.jp/hcmrec/>

## 交通案内

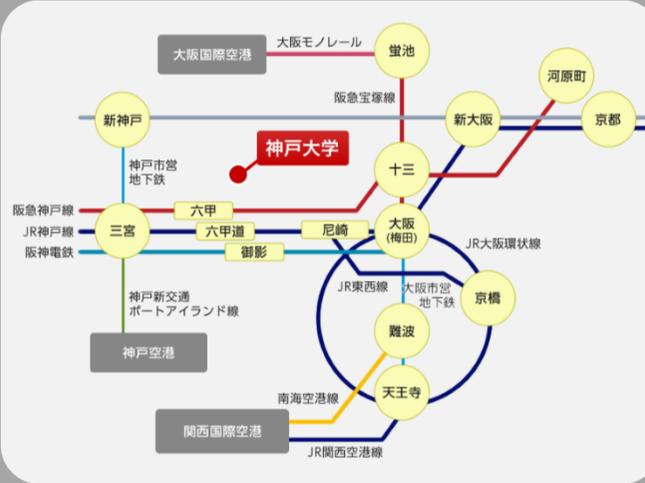
### ●交通案内

鉄道:【JR】「六甲道」、【阪急】「六甲」下車

徒歩:【JR】「六甲道」より約30分

【阪急】「六甲」より約20分

バス:【神戸市バス】36系統鶴甲団地行「神大正門前」下車  
(「JR六甲道」より約20分、「阪急六甲」より約10分)



### ●建物配置図



神戸大学大学院経営学研究科

人的資本経営研究教育センター  
(インソース創業20周年記念寄附センター)

Human Capital Management  
Research and Education Center

sponsored by 20th anniversary of Insource Inc.



## センター長のご挨拶



一般に「企業は人なり」と言われます。企業の最重要資源である人に着目し、「人を大切にする経営」の具体的な在り方を探究して、社会に実装していこうとするのが人的資本経営研究教育センターの基本的役割です。

この「人的資本経営」というコンセプトは、用語としてはごく最近になってから用いられ始めた感がありますが、実はその素地は、ここ数十年にわたって着々と準備がなされてきていました。M.ポーター教授の提唱したCSV経営、企業の社会的責任、サステナブル経営、ESG投資、女性活躍推進、ダイバーシティ、ワークライフバランス、健康経営、ウェルビーイング等々、関連するキーワードは実に多く、枚挙にいとまがありません。いわば、これら全てを統括し「人を大切にする経営」として昇華させたのが「人的資本経営」なるコンセプトなのです。

神戸大学大学院経営学研究科では、2023年度より、株式会社インソースと包括連携協定を締結し、その下でセンターを設置して研究教育を行い、その成果を社会へ向けて発信してまいります。

目下、当センターでは、①「見える化」促進プロジェクト(各社での働く人々の実態を科学的に測定・開示するプロジェクト)と、②働きがい向上プロジェクト(働く人々の個人的悩みや課題を解決し、働きがいを向上させるプロジェクト)の2つのプロジェクトに重点的に取り組んでいます。

これらの成果として、長期的に「新しい人的資本経営の社会実装」が可能となることを目指して、働く人たちが生き生きと、幸せな人生を送れるような社会を創っていくことが私たちの切なる願いです。

2023年5月

神戸大学大学院経営学研究科教授  
人的資本経営研究教育センター長  
(インソース創業20周年記念寄附センター)

上林 憲雄

## 神戸大学大学院経営学研究科について

神戸大学大学院経営学研究科は、日本における経営学・会計学・商学の中核的研究教育拠点(COE)として、「学理と実際の調和」という建学の理念の下、神戸高等商業学校の伝統ある系譜を汲み、産学連携をとりわけ強く意識しつつ産業界をリードする人材の養成を手がけてきました。経営学という学問領域の特性もあり、研究者は企業等での最先端の事象を取り入れ実証研究を行い、産業界はその研究成果を企業活動に活用できるというように両者が一体化され、運用される工夫が着実に積み重ねられてきました。

こうした学界と産業界の連携は、本研究科の目指す産業社会との相互協力と相互批判を通じて研究を進め、その成果を学内外で教育するとともに社会還元していく「オープン・アカデミズム」という理念によって端的に表現されています。また、本研究科の教育活動は、研究科に蓄積された教員個々の研究活動の成果を学問的・理論的基礎とする「研究に基礎を置く教育(Research-based Education)」を基本にしています。



神戸大学経営学部は、日本で最初にできた経営学部であり、経営学の教育・研究の中心でもあったことから、「わが国の経営学ここに生まれる」という石碑が、六甲台キャンパスの前庭に建てられています。



神戸高等商業学校の初代校長・水島鏡也は、実務教育を重視し、推進しました。



出光佐三記念六甲台講堂は神戸商業大学講堂として1935年(昭和10年)に完成しました。



神戸大学経営学部が新制国立大学として1949年(昭和24年)に再出発し70周年が経過したことを記念した書籍が刊行されています。

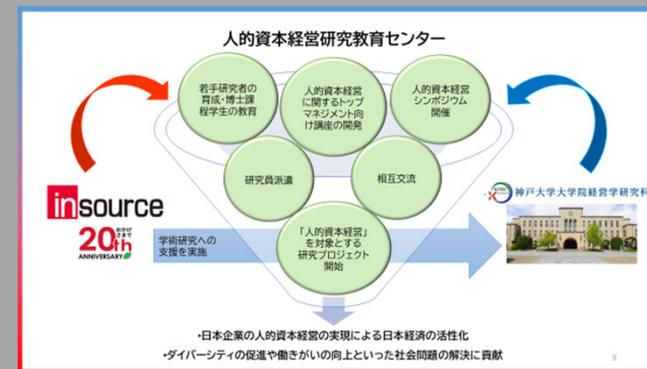
## センターの活動とメンバー

### ●センターの活動

当センターは、神戸大学大学院経営学研究科と株式会社インソースが積極的かつ効果的な研究・技術の交流を図り、両者が持つ知識・技術を共有する機会を確保しながらともに発展し、社会貢献に資することを目的として設置されています。

この目的の達成へ向けて、以下に掲げる連携活動を推進しています。

- 1) 人的資本経営に関する研究・教育の企画・実施
- 2) 人的資本経営に関するシンポジウムやセミナー等の企画・実施
- 3) 各種の研修並びに経営指導
- 4) その他、産学連携の推進



### ●メンバー

- 神戸大学大学院経営学研究科
  - 上林憲雄 (教授、専門：人的資本経営、経営管理、経営組織)
  - 内田浩史 (教授、専門：金融システム、金融機関)
  - 鈴木竜太 (教授、専門：経営組織論、組織行動論)
  - 服部泰宏 (教授、専門：組織行動、人的資源管理)
  - 庭本佳子 (准教授、専門：人的資源管理、経営組織)
  - 原 泰史 (准教授、専門：イノベーション、産業組織論)
- 神戸大学経済経営研究所
  - 西谷公孝 (教授、専門：サステナビリティ経営)
  - 江夏幾多郎 (准教授、専門：人的資源管理、雇用制度)
- 株式会社インソース
  - 藤本茂夫 (神戸大学大学院経営学研究科非常勤講師・客員教授、取締役 執行役員CFO)
  - 澤田晋一 (神戸大学大学院経営学研究科非常勤講師・研究員、グループコンテンツ開発部 次長)
  - 網中彩乃 (神戸大学大学院経営学研究科非常勤講師・研究員、グループコンテンツ開発部 リーダー)
- 株式会社インソースクリエイティブソリューションズ
  - 矢野由香里 (神戸大学大学院経営学研究科非常勤講師・研究員、執行役員)